

賛助会員

理研食品株式会社 (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

株式会社KANSOテクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事があります。ご投稿に際しましては、第 71 巻 1 号の p.30-33 に掲載されました投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票は日本藻類学会の WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) からダウンロードでき、論文通信担当編集委員の連絡先も WEB サイトで確認できます。現在は電子メールでのデジタルデータの投稿を受け付けていますので、投稿票は WEB サイトからダウンロードしてご使用ください。皆様のご投稿をお待ちしています。(編)

編集後記

72 巻 2 号をお届けします。3 月の藻類学会神戸大会、4 月のアジア太平洋藻類学フォーラム(札幌)と対面での大会が増えてきました。3 月の神戸大会会期中に開催された編集委員会では、和文誌藻類の論文を対象とした論文賞について議論がありました。これまでの編集委員会でも毎回出る議題ではあったのですが、今回は前向きに検討することとなりました。本号刊行後に委員会での議論を始めるべく、小亀会長の

お力添えもいただきながら、論文賞に関する過去の経緯を改めて調べています。過去には和文誌掲載論文も論文賞の対象となっていたことや、英文誌掲載論文のみが対象となった際には、和文誌だけを対象とした論文賞の設置に関する議論があったこともわかってきました。20 年ほど前のことです。

(岩滝 光儀)

表紙 採集されたスガイとカイゴロモ：とある港町にて

制作者：香川 理 (筑波大学下田臨海実験センター)

制作者より：カイゴロモはシオグサ目に属する緑藻で、潮間帯に生息する巻貝の貝殻に着生します。以前は、日本周辺に生息する潮間帯巻貝のスガイにのみ着生するとされてきました。しかし、近年、スガイ以外の宿主巻貝が複数発見され、これを機に新たな研究が進みつつあります。写真は、のどかな港町の風景が残る神奈川県真鶴町で撮影されました。写真から、青々としたカイゴロモがスガイの貝殻表面を覆っていることがわかるかと思ひます。